

ごみ削減のためのリサイクル製品

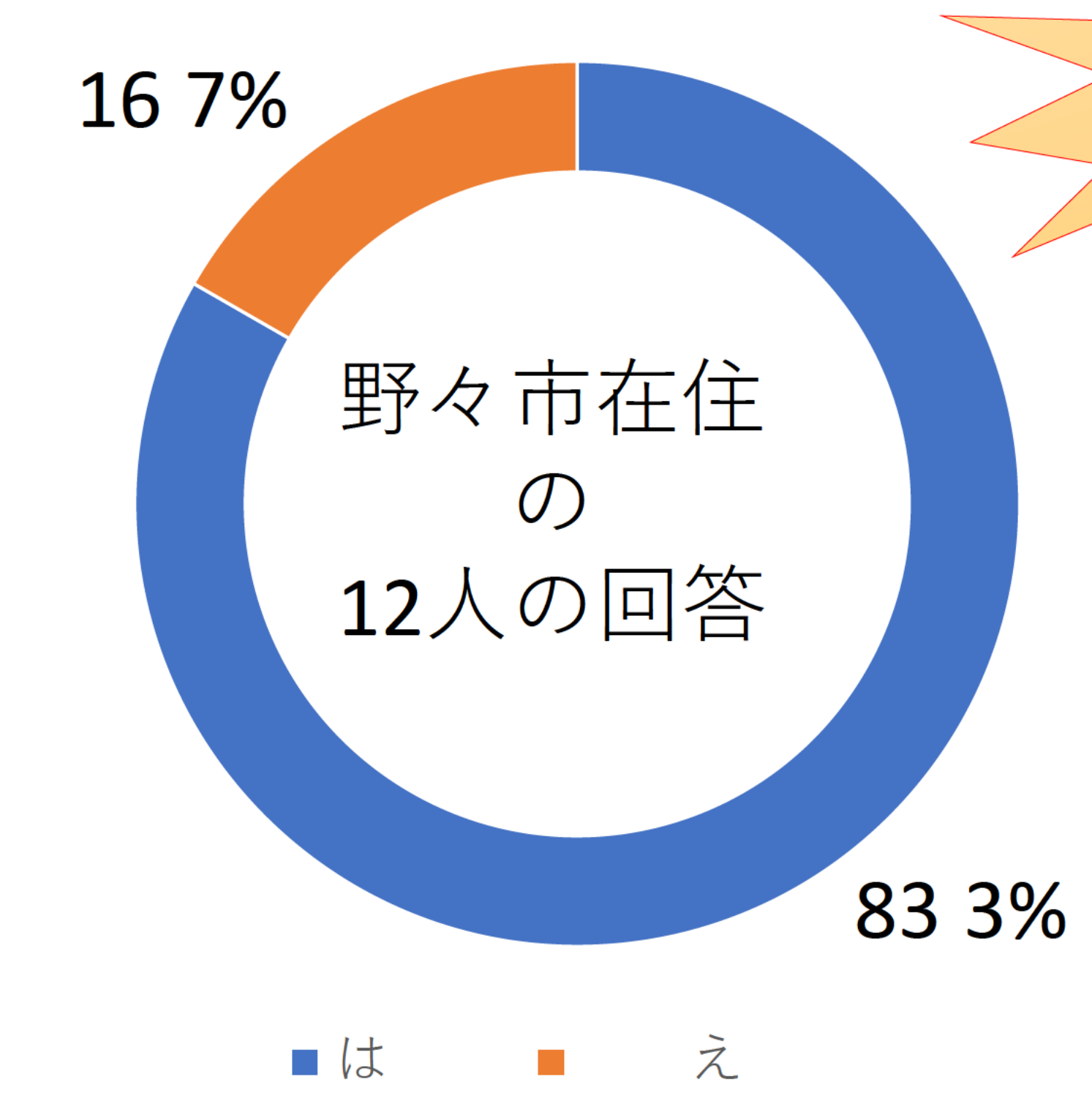
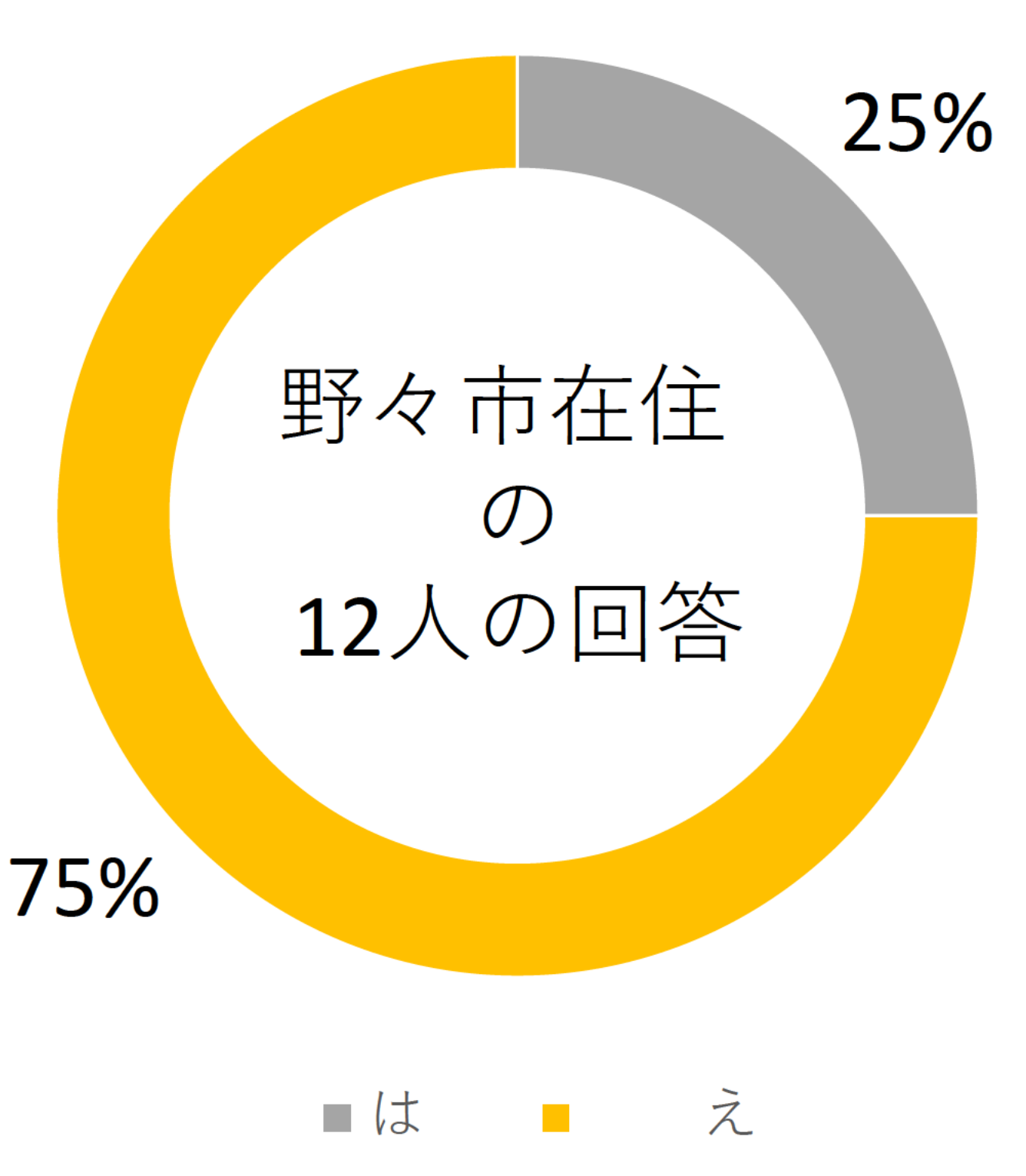
クラスチーム：EM404 5 担当：島谷先生，メンバー：[REDACTED]

テーマ選定理由

家庭で行う分別の手間を省き，リサイクルできるごみを増やす

現状調査

金沢工業大学27人の学生を対象とした



前提条件/現状地/目標値



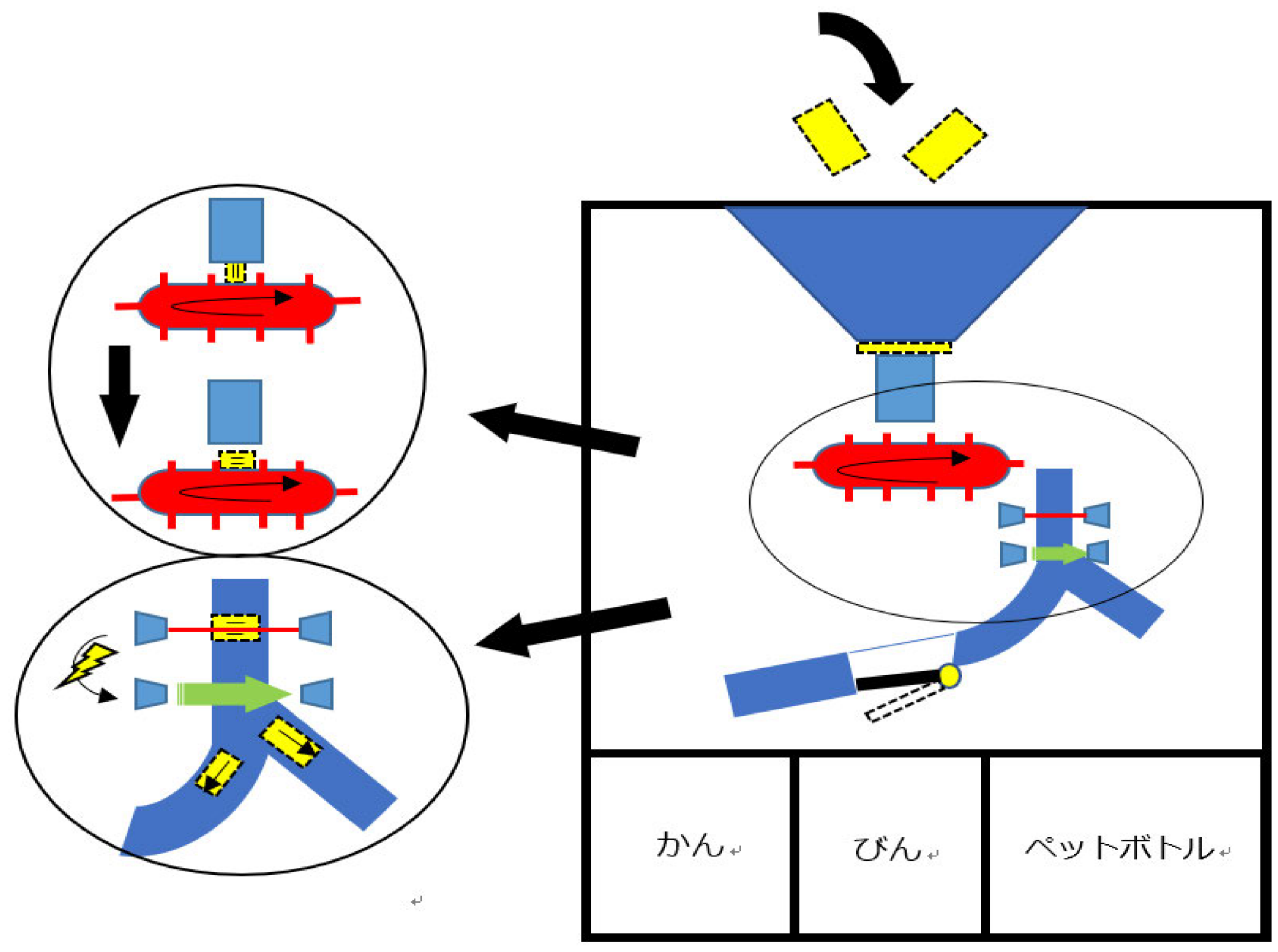
- 対象者 金沢工業大学の学生
- 年齢層 18歳～22歳
- 範囲 地域 野々市市在住の学生

項目	現状値	目標値
ごみの分別	5%	5%
リサイクル製品の認知度	75%	85.3%
リサイクル製品の使用率	16.7%	25%

アイデア創出

- ・生分解性素材を用いたプラスチック製品
- ・手軽な分別機の開発
- ・マイストローの実用化

3K(気軽, 簡単, 効率)



- ①ゲート(1)を等間隔で開閉し ごみが個々に落ちる
- ②落下したごみがベルコンベアにより 横方向に向きを変え落下
- ③落下したごみが透明センを通過
- ④ごみが透明(ペットボトル)だった場合 コンプレで風を噴射 重量の軽いペットボトルは右のごみ箱に落下 重量の重いかんびんは左の通路に落ちる
- ⑤かんびんは重さによって落ちる ゲート(2)を通過する際 重いびんは下に落下し 残ったかんはそのまま落ちる

活動のまとめ

・私たちが考案した3K分別機が実現できれば，飲料水などから排出されるごみの分別が簡易的なものになり，「環境問題の改善」「世の中の分別に対する意識の向上」が実現できると考える。